

大阪府立出来島支援学校だより

できじマガジン

創刊号

新校に関する情報や、内覧会・転学者説明会などの様子をお届けしてきた『できじマガジン』ですが、開校後は準備室だよりではなく「出来島支援学校だより」として新たにスタートし、学校からの情報を発信していきたいと思えます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。(そういうわけで、本号を改めて『創刊号』といたします。)

【ニュース：前期始業式・第1回入学式が行われました】

令和6年4月8日(月)は、大阪府立出来島支援学校が、学校として初めて児童生徒のみなさんを迎え入れる記念すべき日でした。午前中は、小学部2～6年生、中学部2・3年生が、いろいろなカラーリングの通学バスに乗って、また公共交通機関等を利用して登校してきました。

児童生徒のみなさんにとっても、教員にとっても、多くの人たちと初めて会う日でした。お互いに緊張感のある初対面だったと思いますが、バスから降りてきたほとんどの児童生徒は、教員からの「おはようございます」のあいさつに、ごく自然な感じで応えていました。

3月11日・13日に行った転学児童生徒を対象とした学校見学会で、私がした自己紹介を覚えてくれていた生徒がいて、「武田校長先生、おはようございます」とあいさつしてくれたときは、本当にうれしかったです。



始業式では、3月までいろいろな学校へ通っていたみなさんが集まってきた学校が出来島支援学校だけれど、みなさんが今日ここに同じ学校の児童生徒として集まってきたように、それぞれの学校の名前の文字を集めてみると「なかよしのなかまができ…」や、「じまんのなかまができ…」という文章ができあがるんだから、きっと大丈夫ですよという話をしました。(文章の最後の「る」だけは、どの学校も使っていない文字でしたので、児童生徒の皆さんに声をそろえて言ってもらいました。)

午後からの第1回入学式では、小学部1年生、中学部1年生、高等部1年生のみなさんを新たに本校に迎えることができました。私からは、入学式はみなさんが生きていく中で、とても大事な日のひとつなので、本校での学びがスタートする今日を、自分の名前に込められた思い・願いをあらためて感じる日にしてくださいという話をしました。

また、一人ひとりの名前はそれだけで素敵で、一文字ずつでも魅力的ですが、組み合わせると新たな世界が見えてきますよ、という話もしました。学校は、様々な思い・願いをもった人が集まってくるところで、それぞれの思いや願いが「出会って」「結びついて」「一緒に学ぶ」中で、一人では気づかなかったこと、感じるができなかったことなどをいっぱい経験し、共に高め合えるところです。みなさん一人ひとりが、ここ出来島支援学校で繰り広げられる日々の物語の主人公になって、これからいっぱい学び、成長していきましょうね。

(入学式では、新入生の名前に使われている文字から「大空を翼で翔ける」や「紫陽花が美しく咲く」という文章を紹介しました。みなさんも是非作ってみてください。まだまだ、素敵な文章、物語がここから生まれると思えます。)

彩あ亜愛蒼旭歩晏杏郁莓馬
海瑛央狼大音花快香叶楓希貴
暉玖耕こ心衣沙冴咲幸里知慈
次樹章翔真介佑聖千空壮奏颯
宗汰智翼斗友奈流梨波二柀の
乃華羽遥美久人広太蒔誠み湊
向結紫芽や康優勇悠祐夢佳陽
由璃理莉陸龍亮涼琉礼蓮郎